

招集期日 平成23年6月23日(木曜日)

招集場所 入間市庁舎5階第1委員会室

開 会 6月23日(木曜日)午後 3時16分

閉 会 6月23日(木曜日)午後 3時24分

出席委員	委員長	金子俊雄	副委員長	小島清人
	委員	石田芳夫	委員	安道佳子
	委員	山本秀和	委員	向口文恵
	委員	堤利夫	委員	齋藤國男
	委員	駒井勲		

欠席委員 な し

説明のため出席した職員	企画部長	企画部次長
	企画課長	関係職員

委員会に出席した事務局職員 玉井栄治 沼井俊明

△ 開会及び開議の宣告（午後 3時16分）

委員長 ただいまの出席委員は9名であります。定足数に達しておりますので、これより基地対策特別委員会を開会をいたします。

直ちに本日の会議を開きます。

△ 議事

委員長 これより議事に入ります。

それでは、お手元に配付いたしました協議事項によりまして議事を進めさせていただきたいと思えます。

まず、1の今後の検討課題についてを議題といたします。

当基地対策特別委員会は、さきの3月の定例会の最終日をもって、一度委員会を閉じましたが、市内に所在するジョンソン基地跡地利用と航空自衛隊入間基地、米軍横田基地に関する諸問題について、引き続き調査研究及び提案を行うため、再度設置されているところであります。

前期2年の特別委員会では、航空機に関する騒音問題と、主に入間市駅側のジョンソン基地留保地の利用計画について協議をしていただき、市、財務省、そして防衛省、航空自衛隊入間基地等へ提案と要望活動を実施いたしました。

活動内容については、お手元の資料1をごらんいただきたいと思えます。10回の委員会と視察、要望活動を実施いたしましたところであります。

本日は、委員会編成後、初めての会議でありますので、まず基地対策における今後の検討課題についてご協議をお願いいたしたいと思えます。

これは、ご意見を伺ってしまったほうがいいのかな。

この基地対策特別委員会の委員の中で、今後の検討課題ということで、前回、今申し上げたとおりなのですが、今後、どういうふうな方向でいくか、意見がありましたら、ぜひよろしく願いをいたします。

意見はございますか。

山本委員 持ち帰らせていただきたいのですけれども、というのは、前期2年、これまでの2年間で一定の議論をして、一定の成果物出ていまして、その出た成果物について、すぐ動かせる状況にないということも考えますと、また省庁等の要望活動にしても、今震災対応で追われている状況ですので、恐らくこれは基地側も同じだと思うのですよ。実際にもう今、被災地に向かって物資の搬送やら何やら支援に出ている状況ですから、ちょっと今何できるかという、委員会としてどういう活動を具体的に起こせるかということについては、ちょっと即答いたしかねるので、いずれにしてもちょっと検討する時間をいただきたいので、持ち帰らせてい

ただきたいのですけれども……。

堤委員 前回の最終10回目の会議のときに、今までは基地の跡地利用については、買い取りと、要するに売却という前提で物事を進めて議論していきましたよね。その途中で、どうも余り国有地の払い下げがうまく進んでいないということで、途中で国のほうは貸し付けの考え方も示したという話を多分私のほうさせてもらったと思うのですけれども、それらを具体的な、例えばどういう要件のときに貸し付けが可能なのか、例えば今、ジョンソン基地跡地のこういった要件の中で、貸し付けのその対象になる案件に該当するのかどうかと、その辺の基準がちょっとよくわからないので、できれば詳細な調べをもししていただければお願いしたいなど、資料として欲しいなと思うのですけれども……。

委員長 これに対しては執行部はどうですか、何かありますか。

企画部次長 今ご提案のものにつきましては、ちょっと今手元にございませんので、再度調整をして、次回出させていただくということによろしいでしょうか。

委員長 ほかにございますか、このこと以外に。

石田委員 馬頭坂線の今後工事がどうなっていくのか、できたら細かい具体的な日程がここでなってくるのではないのかと思うのですよ。その点でこの基地跡地の関係どうなるのかと、もう一つ、東町のほうに関しては、ほとんどまだ論議がされていないのですよね。これの論議も必要なのではないかなというふうに思うのです。それで、同時に、この間こっちの駅前のところを一応要望出して、それなりの返事はもらっているわけだから、もう一歩その辺で具体化を詰めていくというかな、その辺が一つの課題になるのかなという感じがします。

委員長 ほかに、そのほかの方はありますか。

今、3点、1点は持ち帰りを願いたいという1点、そしてあと1点は、基地跡地の借地の関係も詰めていく方向でという意味合いが、それと石田委員のほうから馬頭坂線を絡んだ基地跡地の関係、そして東町のほうの関係等々という意見が出たわけですが、まずはその3点があるのですが、その辺はどうしましょう。別に持ち帰っていただかなくても、これらをテーマときょう決まれば、らしきものでいってしまうということもできるのかなという感じもするのですが、その辺は皆さんの意向で、きょう決まらないで、山本委員のほうの持ち帰りということをしたらどうだということと、どっちかといえば2点ということかなという感じなのですが、この件に対しましてありますか、何か。どうですか。

駒井委員 私は、ここで入ったので、今までの流れはちょっとわからないのですけれども、駅前については、一応の結論は出ているというふうな内容かと、その中で貸し付けというふうな内容が出てきているということで理解していいわけですか。

両方、28ヘクタールと7.6ヘクタール、両方あると思いますので、その留保地について、貸し付けとかいろいろな方法あるようでしたら、その検討ということは重要だと思います。

石田委員 今回、初めての方もいるのかな。2人。1人か。では、1人分だったら簡単だから、前回まで出されている資料をとりあえず全部事務局のほうで渡してもらって、場合によっては、今山本さんから出てきたという話もあるので、議会の最終日にもう一回やって、そこで決めるようにしたらどうですか。きょう、一応それぞれ持ち帰って、自由に出して、最終日にそれぞれ大体決めるような方向でもう一回開いてもらう。

委員長 その前に、今次長のほうから何か。

企画部次長 堤委員のご指摘の点は、留保地に限らず遊休国有地の活用の方法がちょっと緩和されているという、そういうご指摘ですよ。そうしますと、全体的なことになりますので、先ほどのとおり、これから詳細な調査をさせていただきたいと思っておりますので、次回提供ということでさせていただきたいと思っております。

委員長 それは、こちらからお聞きしますけれども、29日、今最終日というような話も出たのですが、そのころで間に合いますか。

〔(はい、大丈夫です) と言う人あり〕

委員長 皆さんの意見を総合させていただきますと、今基地跡地の関係はもちろん、駅前も含めて東町も、そして国有地の関係、すべて借地の関係の資料あるかないか、どういうふうになっているのかということと、持ち帰りで、山本委員のほうから持ち帰りという話があったのですが、それらも含めて、きょうはこの問題を持ち帰っていただきまして、お願いしたいなという、次回の、委員会ですか、協議会ですか、委員会ですか。

事務局 どちらでも。今回は……

委員長 最終日。

事務局 最終日は、全協と議会防災がもう既に入っております。ですから、とりあえずその後……全協はボリュームが若干あるのかなと、議会防災検討委員会は、この中では山本委員さん、向口委員、齋藤委員が対象になってございます。

以上です。

委員長 時間的には大丈夫ですか、皆さん。

〔(いずれにしても議会そのものは、本会議は) と言う人あり〕

委員長 大半の皆さんの意見をお聞きしますと、最終日に時間をとっていただき、委員会を催してほしいということですので、そんな状況で、本会議あるいは全協、それからもう一つ、議会防災検討委員会ですか、それらが終了した後、催させていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 ありがとうございます。では、それをお願いします。

その他として何か皆さんからありますか。

〔(ありません) という人あり〕

委員長　それでは、なければ会議を閉じたいと思います。

△ 閉会の宣告（午後 3時24分）

委員長　これもちまして、基地対策特別委員会を閉会いたします。
本日はご苦労さまでした。

△ 署名

以上審査の次第は、正確なることを証するため、ここに署名する。

基地対策特別委員会委員長 金子俊雄